

平成30年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		13-	10
事業名	公園維持管理経費	会計	款	項	目
		一般	8	4	2
施策	4 快適なまち	課名	建設課		
	4-2 良好な生活環境のまちをつくる	係名	都市計画係		
	4-2-3 公園・緑地・水辺の整備				
主要施策	①公園の活用と河川整備				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	住民	目的 (対象がどのような状態になっているか)	公園施設の補修・改修や植樹等の刈り込み・剪定・病害虫の駆除を行い、利用者の安全及び利便性の向上を図る。 住民参画による公園管理を推進し、公園愛護意識の高揚と公園環境の向上を図る。
事業内容	中部公園については利用頻度の多さから年8回の定期点検調査を実施し、その他36公園の遊具点検は年6回実施する。点検方法については、鉄鋼物膜厚測定、音響検査、目視検査、ボルト・ナット等締め付け調整を行う。 樹木等の管理(40公園)は、除草を年3回、樹木剪定を年1回実施し、ごみ拾いなどの通常管理は、週1回実施する。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	平成31年(目標)
	1	遊具の危険箇所解消		7	12	箇所		-
2	ボランティア人数				人		35	
3								
4								
5								
			平成29年度(決算)		平成30年度(決算)		平成31年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B			59,933		62,318		66,464	
財源内訳	直接事業費 A		59,933		57,434		61,976	
	うち一般財源		52,600		50,417		54,855	
人件費(千円) B			0		4,884		4,488	
内訳	一般職員(人・千円)				0 0.74		4884 0.68	
	臨時職員(人・千円)				0		0	

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続(事業を現状どおり継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30年度の改善計画		③取組の課題	公園は地域住民にとって憩いの場であり必要不可欠な施設で、様々な年齢層が利用するためニーズも多様化し、その機能は多岐に及んでいます。したがって、施設の維持管理や補修は安全管理の面からも大切な業務であり、今後も魅力ある公園づくりに取り組んでいく必要があります。また公園を安全に利用してもらうために、引き続き管理の徹底に努めていきます。
②H30年度に実施した取り組み	中部公園については利用頻度の多さから年8回の定期点検調査を実施し、その他36公園の遊具点検は年6回実施する。点検方法については、鉄鋼物膜厚測定、音響検査、目視検査、ボルト・ナット等締め付け調整を行う。 樹木等の管理(40公園)は、除草を年3回、樹木剪定を年1回実施し、ごみ拾いなどの通常管理は、週1回実施した。	④今後の改善計画	住民自ら公園管理に積極的に参画していただき、それぞれの地域や年齢層に見合った公園づくりに取り組んでいく必要があります。また公園を安全に利用してもらうために、引き続き管理の徹底に努めていきます。